

第2学年国語科学習指導案

日時 平成21年11月25日(水) 5校時

場所 第一中学校2年B組教室

学級 2年B組

(男子19名, 女子15名, 計34名)

指導者 教諭 羽柴 隆之

1 単元名 5 事実と意見

教材名 「モアイは語る―地球の未来」安田 喜憲(光村図書2年)

補助資料 「イースター島モアイ文明の滅亡の教訓」木下武司
(帝京大学薬学部 教授 木下武司氏のホームページより)

2 単元について

(1) 生徒の実態

現時点での客観的な調査結果である「標準学力検査」(2009.4)の結果は以下の通りである。

	教科の 正答率	観点別正答率					内容別正答率	
		関心・意欲 態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	言語について	説明文の内容 の読み取り	文学作品の内 容の読み取り
学級	74.2	82.4	82.4	82.2	71.3	71.6	66.9	77.9
市	72.8	75.4	86.1	73.1	67.9	72.3	63.1	75.0
全国(昨年)	71.0	74.9	84.8	72.2	66.3	69.7	61.9	72.9

全国、市、と比較して全般的には正答率が高い。特に「関心・意欲・態度」のほか、「読む能力」の数値が高い。内容別正答率でも、「説明文～」「文学作品～」ともに全国、市を上回っている。ただ、「話す・聞く能力」では全国、市を下回っており、授業中の発言や発する声も他の学級に比べると少なめである。個別に考えて書く活動をベースにはするが、意見を交流したり、まとめて発表したりする場面を設定することで、より理解を深めていきたい。

2年生になってからの説明的文章の学習は「文化を伝えるチンパンジー」で行なってきた。要旨をまとめたり、図表に整理し直すことなどを繰り返しながら読みを深め、その中で内容についての関心を高めてきた。説明的文章を学ぶ方法については、ある程度身に付けているものと思われる。また、「文化」を題材にした教材への関心も、ある程度備えていると思われる。

(2) 教材観

イースター島のモアイ像に関する文章である。この文明が滅びた原因を森の消滅であるとして、森林を守り効率的に利用することの重要性を述べている。生徒たちは自分たちが知らなかった悲劇を知り、現在の自分たちの生活と重ね合わせながら考えるきっかけになるだろうと思われる。

文章の構成も、序論部の問題提起と本論部の問題説明が対応しており、数値を交えた具体例とあいまって、論理的な文章の展開を学ぶのにふさわしい教材である。

モアイに代表されるイースター島の歴史については諸説あり、筆者は他の研究者とは異なる、環境考古学者の視点で論を進めている部分があることも踏まえて指導に当たりたい。

比較する補助資料は、帝京大学薬学部教授、木下武司氏のホームページ内の「イースター島モアイ文明の滅亡の教訓」を、形式段落をいくつか設けて使用する。主張の概要は「モアイは語る」と共通であるが、具体例の取り上げ方、論の展開とまとめ方に若干の違いもあり、比べ読みの中で気付かせていきたい。

(3) 指導観

1年時および2年1学期の学習をベースにしなが、構成と内容の把握はなるべく効率的に短時間で進めることを心がける。また同じイースター島やモアイを題材にした別の文章を読み比べることで、本教材の展開の特徴や、論理的文章における説得力などに気付かせる。これまで身に付けてきたスキルを使って短時間で読むことで、知識・技能を活用するという点について意識させたい。

また、別の文章と併せて読むことで、より教材の理解を深めるとともに、様々なスタイルによる論の展開に気付かせたい。さらに、比較して読むことで、与えられたものを鵜呑みにするだけでなく、主張と根拠の関連について客観的に見ることも必要であることに気付かせていきたい。

様々な形で自分の考えを書いてまとめることを授業の中核にし、時間も可能な限り確保するが、ていくが、それに加えて発表の機会も意識的に設定する。

3 本教材の指導目標と評価規準

指導目標	教材の評価基準
<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章を読む楽しさを味わい、新たな発見や驚きなどを通じて、地球の未来に対して関心をもって読むことができる 文章のまとまりごとの構成に着目しながら読み、段落の役割や論理の展開のしかたをとることができる。 文章中に示された事実や根拠を的確に読み取り、筆者の意見を理解することができる。 語句の効果的な使い方について理解を深め、表現に役立たせることができる。 	関心・意欲・態度（学習に取り組む意欲・態度） <ul style="list-style-type: none"> モアイについて知っていることを書き出そうとしている。 事前資料で謎として述べられている部分を区別してサイドライン引こうとしている。
	話す・聞く能力（知識・技能の習得および活用） <ul style="list-style-type: none"> どちらに納得するか発表し合い、自分の考えを確認したり、修正したりしている。
	書く能力（知識・技能の習得および活用） <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して自分が学んだことを、初めの感想と比べながらとらえ、文章にまとめている。
	読む能力（知識・技能の習得および活用） <ul style="list-style-type: none"> 提示されている問題を四つ抜き出し、それに対応する本論部分も四つに区切ってとらえている。 四つの説明の推論を示す表現を抜き出し、二つのキーワードを組み合わせて筆者の意見をとらえている。 置かれている状況、起こっている問題の二つで、それぞれ言葉を抜き出して重ね合わせてとらえている。 初めて読む文章を、これまでに学習した説明的文章を読み取る方法を使って、短時間で内容を整理してとらえている。 二つの文章を読み比べて、共通する部分、異なる部分を書き出し、それぞれの特徴をとらえて言葉にしている。
	言語事項（知識・技能の習得） <ul style="list-style-type: none"> 辞典を使って、文脈中での語句の意味を正確にとらえている。

4 指導計画

	学習内容	本時の目標	評価規準	言語活動
1	事前資料学習 通読 初発の感想	<ul style="list-style-type: none"> モアイについて知っていることを、書き出して整理することができる。 事前資料で、謎とされていることや様々な説をとらえることができる。 【学習に取り組む意欲・態度】 辞典を使って、文脈中での語句の意味を正確にとらえることができる。 【知識・技能の習得】 	<ul style="list-style-type: none"> モアイについて知っていることを書き出そうとしている 事前資料で謎として述べられている部分を区別してサイドライン引こうとしている。（関心・意欲・態度） 辞典を使って、文脈中での語句の意味を正確にとらえている。（言語事項） 	<ul style="list-style-type: none"> 知っていることを思い出して書き出す。（記録） 謎とされている部分にサイドラインを引く。（記録）
2	構成把握	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で疑問の形で問題提示している部分を取り出し、それについて説明している部分を取り出すことで、文章の構成を整理してとらえることができる。 【知識・技能の習得】 	<ul style="list-style-type: none"> 提示されている問題を四つ抜き出し、それに対応する本論部分も四つに区切ってとらえている。（読む能力） 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問の形の部分を取り出す。（記録） 対応する説明部分を取り出す。（記録）

3	内容把握	<ul style="list-style-type: none"> 四つの説明の根拠となっていることを取り出し、筆者の意見をキーワードでおおまかにとらえることができる。 まとめの部分で、イースター島と地球の何と何を重ね合わせているかを、整理してとらえることができる。 <p>【知識・技能の習得】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 四つの説明の推論を示す表現を抜き出し、二つのキーワードを組み合わせて筆者の意見をとらえている。 置かれている状況、起こっている問題の二つで、それぞれ言葉を抜き出して重ね合わせてとらえている。 <p>(読む能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを組み合わせて意見をとらえる。 (要約) 言葉を抜き出して重ね合わせてとらえる。 (要約)
4	補助資料 内容把握	<ul style="list-style-type: none"> 別資料「イースター島モアイ文明の滅亡の教訓」を読み、構成を整理しながら大まかに内容をとらえることができる。 <p>【知識・技能の活用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初めて読む文章を、これまでに学習した説明的文章を読み取る方法を使って、短時間で内容を整理してとらえている。 <p>(読む能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 構成をとらえ内容を整理してとらえる。 (要約)
5 本 時	文章対比	<ul style="list-style-type: none"> 二つの文章を読み比べて、共通する部分と異なる部分を整理し、それぞれの特徴をとらえることができる。 どちらに説得力を感じるか、理由とともに発表し合い、考えを深めることができる。 <p>【知識・技能の活用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二つの文章を読み比べて、共通する部分、異なる部分を書き出し、それぞれの特徴をとらえて言葉にしている。 どちらに納得するか発表し合い、自分の考えを確認したり、修正したりしている。 <p>(話す・聞く能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読み比べて、それぞれの特徴を書き出す。 (記録) 自分の考えを理由とともに発表する。 (論述)
6	まとめ 感想	<ul style="list-style-type: none"> 学習全体の感想を、初めの自分の感想と比べながら、文章にまとめることができる。 <p>【知識・技能の活用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習を通して自分が学んだことを、初めの感想と比べながらとらえ、文章にまとめている。 <p>(書く能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が学んだことを振り返って文章にまとめる。 (論述)

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①「イースター島モアイ文明の滅亡の教訓」と「モアイは語る」を読み比べてそれぞれの特徴をつかみ、説得力のある論理の展開について理解することができる。
- ②二つの文章を読み比べ、様々な意見を聞き合うことで、批評的に文章を読むことの大切さに気づくことができる。

(2) 評価規準および具体的評価規準

評価規準 (評価方法)	評価規準		C が予想される生徒への手立て
	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	
二つの文章を読み比べて、共通する部分、異なる部分を書き出し、それぞれの特徴をとらえて言葉にしている。 (読む能力)	共通する部分、異なる部分をそれぞれ適切にとらえて書き出し、言葉で説明している。	共通する部分、異なる部分を大まかにとらえて書き出し、言葉で伝えている。	大まかな主張は共通していることに気付かせ、自分の言葉で書くようながす。前時までのまとめをよく見て比較させる。
どちらに納得するか発表し合い、自分の考えを確認したり、修正したりしている。 (話す・聞く能力)	自分の考えを、その理由とともに発表し、聞き合うことで確認する。	自分の考えを発表している。	

(3) 本時の構想

①指導の構想

同じ題材の別の文章を読み比べることで、批評的な読みを経験するとともに、活用的な読みを行なうことで、さらにそれぞれの文章の理解を深める習得を充実したものにす。

②言語活動について

立場を決めてその理由を書くことで、個々の活動を確実に行なうとともに、発表を聞き合っで考えることで思考が深まることを体験する。

(4) 展開

段階	過程	学習活動	時間	言語活動☆・評価○・留意点●・◇資料
導入 3分	課題把握	①全文のプリント，ノートを確認して前時を振り返り，本時の学習課題をとらえる。	3	①●「比較」がポイントであることを確認させる。
	二つの文章，自分が「なるほど」とうなずけるのはどちらだろうか。			
展開 42分	課題追究	②二つの文章で共通していることをノートに書き出す。	2	②●前時までの全体のまとめをよく見て比較させる。
		③二つの文章で異なることをノートに書き出す。	15	③●文章自体にもどって比較することもうながす。 ☆読み比べて，それぞれの特徴を書き出す。(記録)
		④グループ内で，自分が書き出したものと比較して整理する。	15	④●様々な考えに気付かせることを中心に行なう。
		⑤整理したものを発表し合う。	15	⑤●挙手発言，指名発言を組み合わせる様々な意見を出させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">二つの文章を読み比べて，共通する部分，異なる部分を書き出し，それぞれの特徴をとらえて言葉にすることができる。</div>
		⑥説得力がある文章に必要な要素を思い出して確認する。	10	⑥単元の導入時に用いた文章や，「文化を伝えるチンパンジー」を想起させ，比較しながら考えさせる。
		⑦自分が説得力を感じ，「なるほど」と感じる方をどちらかに決め，その理由を書き出す。		⑦まず立場を決めることをうながす。 ●討論でどちらかに決めるのではないことを確認する。
		⑧発表された意見をもとにそれぞれの文章の展開の特徴や，筆者の主張の違いをとらえる。		☆自分の考えを理由とともに発表する。(論述) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どちらに納得するか発表し合い，自分の考えを確認したり，修正したりすることができる。</div>
まとめ 5分		⑨「自己評価カード」を記入して自己評価を行う。	5	⑧次時は，学習全体を振り返ってまとめの文章を書くことを確認する。